



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年7月29日

上場会社名 株式会社ヒガシトウエンティワン 上場取引所 東
 コード番号 9029 URL <http://www.e-higashi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役代表執行役社長 (氏名) 児島 一裕
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役 (氏名) 田口 宗勝 (TEL) 06-6945-5611 (代表)
 四半期報告書提出予定日 2020年8月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	5,536	△10.1	195	△25.9	214	△23.6	125	△30.2
2020年3月期第1四半期	6,155	7.5	264	△19.7	281	△17.2	179	△17.8

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 139百万円(△20.1%) 2020年3月期第1四半期 174百万円(△17.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	9.71	—
2020年3月期第1四半期	14.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	13,500	8,284	61.4
2020年3月期	15,338	8,376	54.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 8,284百万円 2020年3月期 8,376百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	—	—	18.00	18.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,695	△13.4	251	△60.7	277	△58.8	171	△60.4	13.30
通期	23,000	△8.4	842	△15.5	900	△14.7	423	△38.7	32.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	13,264,000株	2020年3月期	13,264,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	340,542株	2020年3月期	340,542株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	12,923,458株	2020年3月期1Q	12,836,258株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年6月30日)におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な蔓延に伴い、インバウンド需要の急減や、外出自粛による消費マインドの低下等の影響により、景気の先行きは極めて不透明な状況となっております。

物流業界においては、ネット通販の市場拡大に伴う物流需要が拡大傾向にあるものの、国内労働力の確保や消費増税の影響に加え、新型コロナウイルスの感染拡大による世界的な経済活動の抑制など、今後の経営環境への影響が不透明な状況となっております。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は55億36百万円(前年同期比10.1%減)、営業利益は1億95百万円(同25.9%減)、経常利益は2億14百万円(同23.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億25百万円(同30.2%減)となりました。営業利益については、新型コロナウイルス感染症の拡大等による影響を受け、景気が急減速するなど運送事業の一部業務等の減少が影響し減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ18億38百万円減少し、135億円となりました。資産の主要科目の増減は、現金及び預金が6億69百万円減少し、営業未収入金が回収等により13億21百万円減少し、差入保証金が2020年4月に稼働した大型物流センター(門真)の賃貸借契約に基づく敷金の支払等により1億39百万円増加いたしました。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ17億45百万円減少し、52億16百万円となりました。負債の主要科目の増減は、営業未払金が支払い等により12億47百万円減少し、未払法人税等が2億73百万円減少し、長期借入金が1億13百万円減少いたしました。

純資産は利益剰余金の減少等により前連結会計年度末に比べ92百万円減少し82億84百万円となり、自己資本比率は61.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは前期(2020年3月期)に「中期3ヵ年経営計画(2019年3月期～2020年3月期)」の最終目標であった売上高250億円、経常利益10億円を1年前倒しで達成しました。

これに伴い、更なる成長加速を実現するための長期ビジョンである「ヒガシ21グループVISION2030」と、当該長期ビジョンに基づく新たな中期経営計画である「ヒガシ21グループ中期経営計画2023」を策定し、2020年5月13日に発表を予定しておりました。

しかし、新型コロナウイルス感染症拡大により、自動車等の生産減速に伴う受託業務量低下や、在宅勤務・休業申請等による移転計画の中止や延期などの影響が発生し、当社グループの業績に与える影響を合理的に算定することが困難となったため、長期ビジョン及び中期経営計画の発表を延期することといたしました。

これに伴い、「2021年3月期予算」についても同様に発表を延期いたしました。

当第1四半期(2020年4月～6月)では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響はあるものの、直近では業績への影響は小さくなってきており、一部の事業では持ち直しの兆しもあります。

これを受け、当社グループは発表を延期していた「ヒガシ21グループVISION2030」及び「ヒガシ21グループ中期経営計画2023」並びに「2021年3月期予算」を発表することといたしました。

現時点での2021年3月期の業績見通しは、首都圏での事務所移転作業の新規獲得や、昨年度の東大阪市の大型物流センター開設に続く門真市での新たな大型物流センターの開設など積極的な業容拡大に努めますが、自動車関連や半導体関連メーカーの生産減速に伴う物流量減少等による売上減少も見込まれ、売上高は230億円(前年同期比8.4%減少)を予想しております。

利益面については、取引価格適正化や、新型コロナウイルス感染症拡大の影響下でも高い収益性を実現すべく収益性の低い事業から高い事業への経営資源の再配分の徹底や本社間接費の徹底した削減を実施しますが、一方で、将来の収益獲得の源泉となるIT人材や物流人材への先行投資や、新センター開設の初期コスト増加の発生を予定しております。売上減少に伴う利益減少も考慮し、営業利益は8億42百万円(前年同期比15.5%減少)、経常利益は9億円(前年同期比14.7%減少)を見込んでおります。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を最も強く受けた自動車関連の物流事業においては、業績回復に時

間を要する状況であることから、当期より構造改革に着手しております。

この構造改革の過程において、一時的に構造改革費用が発生する可能性が高いと考えられるため、業績見通しでは構造改革費用としての特別損失を2億円見積もっております。これを受け、親会社株主に帰属する当期純利益は4億23百万円（前年同期比38.7%減少）を見込んでおります。

上記の見通しには、新型コロナウイルス感染症拡大第2波発生等による業績影響は織り込んでおりません。今後、業績予想の修正が必要であると判断した場合には、速やかに開示いたします。

「ヒガシ21グループVISION2030」及び「ヒガシ21グループ中期経営計画2023」については、本日発表の『長期経営ビジョン及び新中期経営計画策定のお知らせ』をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,238,920	2,569,757
受取手形	220,891	182,202
営業未収入金	3,993,293	2,672,020
商品	4,747	4,549
その他	321,440	389,192
貸倒引当金	△8,055	△7,294
流動資産合計	7,771,237	5,810,427
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,235,756	2,200,368
機械装置及び運搬具(純額)	543,575	551,932
土地	2,618,057	2,618,057
その他(純額)	80,385	79,250
有形固定資産合計	5,477,774	5,449,608
無形固定資産		
のれん	260,072	251,498
その他	149,732	151,754
無形固定資産合計	409,805	403,253
投資その他の資産		
投資有価証券	288,854	306,773
差入保証金	1,039,503	1,179,231
退職給付に係る資産	4,076	3,590
その他	394,283	394,080
貸倒引当金	△46,861	△46,771
投資その他の資産合計	1,679,856	1,836,904
固定資産合計	7,567,436	7,689,766
資産合計	15,338,673	13,500,193

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	2,412,101	1,164,673
短期借入金	600,000	600,000
1年内返済予定の長期借入金	506,687	493,873
未払法人税等	372,883	98,885
賞与引当金	224,227	133,678
その他	1,078,311	1,088,674
流動負債合計	5,194,210	3,579,783
固定負債		
長期借入金	813,443	699,472
退職給付に係る負債	38,367	39,220
資産除去債務	255,191	255,458
その他	660,480	642,164
固定負債合計	1,767,481	1,636,314
負債合計	6,961,691	5,216,098
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,001,996	1,001,996
資本剰余金	95,950	95,950
利益剰余金	7,489,799	7,382,710
自己株式	△167,073	△167,073
株主資本合計	8,420,672	8,313,583
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	178	12,302
退職給付に係る調整累計額	△43,868	△41,790
その他の包括利益累計額合計	△43,690	△29,487
非支配株主持分	—	—
純資産合計	8,376,981	8,284,095
負債純資産合計	15,338,673	13,500,193

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	6,155,780	5,536,223
売上原価	4,956,525	4,363,508
売上総利益	1,199,255	1,172,714
販売費及び一般管理費	935,196	977,160
営業利益	264,058	195,553
営業外収益		
受取利息	100	0
受取配当金	6,443	4,233
受取賃貸料	12,993	12,217
持分法による投資利益	636	—
助成金収入	—	5,966
その他	6,713	3,744
営業外収益合計	26,887	26,163
営業外費用		
支払利息	3,014	2,522
賃貸費用	3,801	3,512
その他	2,866	927
営業外費用合計	9,682	6,962
経常利益	281,263	214,754
特別利益		
投資有価証券売却益	449	—
特別利益合計	449	—
特別損失		
会員権評価損	—	2,800
特別損失合計	—	2,800
税金等調整前四半期純利益	281,713	211,954
法人税等	101,967	86,420
四半期純利益	179,745	125,533
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	179,745	125,533

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	179,745	125,533
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,033	12,124
退職給付に係る調整額	1,162	2,078
その他の包括利益合計	△4,871	14,202
四半期包括利益	174,874	139,735
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	174,874	139,735
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第1四半期累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(重要な後発事象)

(譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分)

当社は、2020年6月17日開催の取締役会において、譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分（以下「本自己株式処分」又は「処分」という。）を行うことについて、下記のとおり決議いたしました。

1. 本自己株式処分の目的及び理由

当社は、2020年6月17日開催の取締役会において、当社の取締役、執行役（取締役兼務執行役を除く。）及び執行役員（以下「対象者」といいます。）を対象に、当社の中長期的な企業価値増大への貢献意識を高め、株主の皆様との一層の価値共有を進めることを目的として、譲渡制限付株式を割り当てることを決議いたしました。

2. 本自己株式処分の概要

(1) 処分期日	2020年7月10日
(2) 処分する株式の種類及び数	当社普通株式85,500株
(3) 処分価額	1株につき496円
(4) 処分価額の総額	42,408,000円
(5) 募集又は割当方法	特定譲渡制限付株式を割り当てる方法
(6) 出資の履行方法	金銭報酬債権の現物出資による
(7) 割当予定先	当社取締役（社外取締役を含む）10名に対して55,200株 当社執行役（取締役兼務執行役を除く）3名に対して17,000株 当社執行役員6名に対して13,300株
(8) 譲渡制限期間	2020年7月10日から2050年7月9日
(9) その他	本自己株式処分については、金融商品取引法による有価証券通知書を提出しております。